



第109号 2026年1月1日発行

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24 徳島大学 日亜会館3階
TEL (088)602-0151 FAX (088)602-0152 E-mail toku-sc@ouj.ac.jp巻頭
言

老年期の発達課題

客員准教授 川西 智也(鳴門教育大学 准教授)

2021年度から徳島学習センターの客員准教授を務め、はや5年目を迎えました。専門は臨床心理学ですが、とくに認知症の人とその家族への支援、高齢者への支援、コミュニティ・アプローチなどに関心があります。担当ゼミでは、「コミュニティのなかでの心理支援」というテーマのもと、臨床心理学に関する様々なトピックを提供し、受講生との質疑を行ってきました。その一部を紹介すると、認知症の人とその家族、社会的養護下の児童とそのケアから離れた人、刑務所出所者、ホームレスなど、日々の暮らしに困難を抱える人々への支援や、虐待、いじめ、性の問題、ゲーム依存など、特定の問題への支援が挙げられます。取り上げるトピックを事前に知りたいとの受講生の希望があり、最近では徳島学習センターのHPでゼミの予定とともに、直近のゼミで扱うトピックを掲載するようにしています。

今回は、最近のゼミで取り上げた「老年期の発達課題」について紹介します。発達課題とは、人の生涯の各ステージで直面し、取り組むことが求められる課題のことを指します。例えば、発達早期の乳児は、自分が生を受けたこの世界やまわりの人びとはそれなりに信用できるという信念を築くことが、その先を健やかに生きていく上で重要な課題となります。私たちはこうした各ステージに特徴的な課題を乗り越えて、今があるわけです。ただし、どの程度克服してきたかには個人差があり、達成が不十分で多少の積み残しがありながら、次のステージに移行することも少なくありません。

さて、年齢を重ね、老年期に至り浮かび上がる課題がここでのテーマです。60代、あるいは70代に差し掛かると、病気の有無にかかわらず、これまで以上に自身の体の衰えを自覚することが増えてきます。仕事の能率が低下し、ミスや

もの忘れも増え、自身の頭の衰えに直面することもあります。また、配偶者や親友など、同年代の身近な人との死別を経験することも増えてくるでしょう。こうしたことから、人生には限りがあり、自分にも死が訪れるという当たり前の事実に向き合うこととなります。

こうして人生の終着点がぼんやりと視野に入ってくると、私たちの意識は自然と過去に向かいます。そして、これまで生きてきた歩みを振り返ることが増えてきます。その中で、「仕事に尽力したおかげで、こんなに会社が大きくなった」「社会で活躍する息子を立派に育て上げた」など、自分がなしたことを誇りに感じられることがあります。一方で、「家庭に時間を割いてやれなかった」「やってきたのは家族の世話だけで、私が積み上げたものは何だったのか」など、やり切れなかったことを悔やむこともあります。過去を回想し、誇りと後悔の両極を揺れ動きながら、自分の人生の歩みに確かな意味や手応えを見いだしていくことは「統合」と呼ばれ、老年期に直面する課題とされています。

回想は聴き手の存在により、いっそう深まりを帯びてきます。「回想法」は、聴き手との対話により回想を促す実践として知られています。高齢者施設などで集団レクリエーションのひとつとして行われるものもあれば、カウンセリングの一環として1対1の面接で行われるものもあります。わが国では高齢者を対象としたカウンセリングはあまりなじみがないのが現状ですが、後者の回想法は「統合」の課題に取り組む場としても機能しています。



重要

閉所日2日制の導入について

令和8年4月1日から現在の月曜日に加えて火曜日を閉所日とし、閉所日2日制に移行しますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【令和8(2026)年4月1日からの閉所日】

- ・毎月曜日
- ・毎火曜日(ただし、同一週の日曜日に国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める祝日がある場合は除く。)
- ・国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日
- ・12月29日から翌年1月3日までの日
- ・学長又は徳島学習センター所長が特に必要と認める日

地方創生政策が目指すウェルビーイングと地域幸福度

客員教授 豊田 哲也(徳島大学教授)

政府が進めてきた地方創生政策は、開始から10年を迎え、いま効果検証の段階に入っています。出発点となったのは、2014年に日本創成会議が公表した「消滅可能性都市」レポートでした。20～39歳の女性人口が将来的に半減すると予測された自治体を名指した報告は大きな衝撃を呼び、安倍政権下で地方創生政策が本格化しました。同年には石破前総理が初代の担当大臣に就任し、「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、人口減少の抑制と東京一極集中の是正が政策の柱として掲げられました。

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により人の移動が制限され、東京への人口集中はいったん緩和しましたが、近年は再び集中傾向が強まっています。少子高齢化が加速する日本において、地方の人口減少を完全に止めることが難しいとすれば、地方創生はどのような目標を目指すべきなのでしょう。

岸田政権下で打ち出された「デジタル田園都市構想」は、こうした問題意識を反映したものです。テレワークの普及によって働き方の自由度が高まるなか、デジタル技術を活用して地域の魅力を高め、住民の生活の質を向上させようとする試みです。同時に、人口や所得だけでなく、人々がどれだけ「幸せに暮らしているか」という観点、すなわちウェルビーイングの向上が政策の中心に据えられるようになってきました。

ウェルビーイングは、健康寿命や医療体制、歩道整備率、犯罪発生率といった客観指標に加え、住民アンケートによる満足度や幸福感といった主観指標を組み合わせた複合的な概念です。デジタル庁は「地域幸福度(Well-Being)」を毎年調査し、ウェブ上で結果を公表しています。

経済学の分野でも、幸福度を測る研究は長く行われてきま

した。各国のGDPが上昇しても幸福度が高まるとは限らないという「イースタリン・パラドックス」は有名です。さらに、ノーベル経済学賞を受賞したカーネマンとディートンの研究では、一定以上の年収になると幸福度が頭打ちになることが示されました。一方、最近の研究では、幸福度の伸び方は個人差が大きいことも明らかになっています。

加えて重要なのが「相対所得仮説」です。人は自分の収入水準そのものだけでなく、周囲との比較によって幸福感を左右されます。たとえば、自分の収入が高くても周囲がそれ以上であれば劣等感を覚え、逆に周囲より高ければ優越感を持つことがあるでしょう。この視点は、居住地選択と幸福度の関係にも応用できます。豊かな地域に住めば誇らしさを感じる反面、周囲との差にみじめさを感じることもあるのです。

私はこれまで地域間の所得や雇用の格差を研究してきましたが、近年はウェルビーイングに関する実証研究にも取り組んでいます。大都市圏住民を対象に行った調査では、主観的幸福度は「地域の相対的な豊かさ」と「その地域内での階層意識」の双方に強く影響されることが確認されました。また、全国約3万5千人を対象とした別の調査では、東京などの大都市と地方都市の間で、幸福度に大きな差が見られないという結果も得られています。

これらの結果は、都市の規模や経済力だけでは人々の幸福を十分に説明できないことを示しています。重要なのは、住民がその地域に愛着を持ち、安心して暮らし、誇りを感じられる環境が整っているかどうかです。人口や経済指標だけにとらわれず、生活の質や満足感に目を向けることこそが、これからの地方創生に求められる視点だといえるでしょう。地域の持つ多様な価値を見つめ直すことで、持続可能で豊かな社会への道筋が見えてくるはずです。



2025年度第1学期学位記授与式を開催しました

2025年9月28日

徳島県教育委員会
佐野 弥生様徳島同窓会 会長
柳本 聖 様

卒業生代表 謝辞



2025年度第2学期 単位認定試験について

単位認定試験は**Web受験方式**(一部科目については郵送受験方式)にて実施します。

実施方法や試験日程は、以下のとおりです。ご注意ください。

実施方法

自宅での受験は期間中24時間いつでも試験を受けられます。



●Web受験方式●

・自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。

・1科目50分の制限があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)

○「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載しています。

●郵送受験方式●

※「行政学講読(24)」「正多面体と素数(21)」「日本史美術史の近代とその外部(18)」「量子化学(19)」のみ

・1月上旬、大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。

・試験時間の制限は行いません。

・出題形式は「記述式」または「併用式」です。

●本人確認(大学院生のみ)● 2025年1学期より、Webカメラを使って本人確認を行っています。

第2学期実施スケジュール

通信指導結果返送		12月末～1月上旬予定
受験票到着予定		1月初旬 *1/10(金)に到着しない場合は要連絡
単位認定試験期間	Web受験科目	1月18日(日)9:00～1月26日(月)17:00
	記述式・併用式科目	1月18日(日)9:00～1月22日(木)17:00
	郵送受験科目	1月18日(日)～1月22日(木)《必着》
成績発表予定日		2月13日(金) システムWAKABA

Web単位認定試験体験版について

受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から単位認定試験期間前までに必ず**体験版の操作**を行ってください。

システムWAKABAにログインし、「学内リンク」から「Web単位認定試験」をクリックし、練習したい出題形式のものを選択し受験を開始してください。体験版は何度でも解答提出ができます。

☆**自宅での受験が困難な方は、申請により学習センターで受験**できます。

あらかじめ決められた日に受験します。

対象となる方:ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情がある方は学習センターにお申し出ください。

成績通知

試験結果は、2月17日発送予定の「成績通知書」にてお知らせします。(「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は記載されません。)なお、この通知書は証明書ではありませんので、証明書が必要な場合は、所定の手続きを行い、「成績・単位修得証明書」の交付を受けてください。

2026年度第1学期の科目登録について

2026年3月末で学籍が切れる方



継続入学の案内は送付されません。

郵送で出願する方は本部に資料請求するか、学習センターに来所して、要項を受け取り、必要事項を記入して本部へ送付してください。

Web出願の方は、システムWAKABA→継続入学申請から手続きしてください。

出願期間

第1回募集：2025年11月26日(水)
～2026年 2月27日(金)
第2回募集：2026年 2月28日(土)
～2026年 3月16日(月)

■面接授業・ライブWeb授業を併せて出願する場合は、科目登録期間にシステム WAKABAで継続入学と同時に科目登録を行ってください。ただし、面接授業・ライブWeb授業のみの登録はできません。放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録してください。

また、面接授業登録期間前に継続入学出願した場合は、学期開始後の追加登録期間に申し込むことになります。

2026年4月以降も学籍の続く方

本部より1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。よく読んで次学期に履修する科目履修登録をしてください。

科目登録期間

郵送申請：2026年2月13日(金)
～2026年2月27日(金) ≪ 必着 ≫
Web申請：2025年2月13日(金) 9:00
～2025年2月28日(土) 24:00

■2025年度第2学期に登録した科目の単位を修得できなかった場合(通信指導未提出・単位認定試験不合格)、学籍が継続していれば次学期に限り自動的に再登録(無料)されます。

■「科目登録申請要項」が登録開始の8日前に未着の方は、大学本部(043-276-5111【総合受付】)へご連絡ください。

「継続入学出願票」と「科目登録申請票」は
提出期間が違います。ご注意ください。

2026年1学期以降も在籍期間があり、試験の結果3月末で卒業見込みの方

成績判定後 スムーズに手続きできるように、次の2点について確認しておいてください。

①卒業とならない場合に備えての科目登録

卒業とならない場合に備えて2026年第1学期の科目登録の準備をしておいてください。再試験のみ受験の方は、科目登録は必要ありません。

②卒業となった場合の再入学のための出願

再入学を希望される場合は大学本部より「再入学案内文書」が送付されますので、お読みの上、期間内に入学の手続きを行ってください。その際には自動的に3年次編入となります。



①と②の両方を提出した方は、該当する方だけが有効となります。

除籍について (教養学部 全科履修生)

次のいずれかに該当するときは自動的に除籍となりますのでご注意ください。

①在学年限を超えたとき。

②休学期間を除き、学費納入がない期間が4学期続くととき。

*連続3学期間科目登録をしていない方(休学して2026年度第1学期に復学される方も含む)で学籍の継続を希望する方は、必ず2026年1学期に科目登録をしてください。

ご不明な点がございましたら、事務室にお問い合わせください。

2026年度徳島学習センター第1学期面接授業開設予定科目

* 必ずシラバスで授業内容を確認してから登録してください。

* ●印の科目は、追加登録はできません。

シラバスは
WAKABAで
公開中

科目区分	BYOD	科目名	担当講師	開催日	会場についての注意
専門科目	社会と産業	現代のフードシステムを考える ●	橋本 直史	4月18日・19日	
専門科目	生活と福祉	老年看護学概論 ●	南川 貴子	4月18日・19日	
専門科目	生活と福祉	持続可能な住環境を考える ●	池添 純子	4月25日・26日	
専門科目	社会と産業	空気圧駆動システムの制御と応用 ●	高岩 昌弘	4月25日・26日	
基盤科目	外国語	休暇や旅行に関する基礎英会話	勝藤 和子	5月 9日・10日	
導入科目	情報	生成AIの仕組みと使い方	石田 基広	5月 9日・10日	
専門科目	心理と教育	心理検査法基礎実習	川西 智也	5月16日・17日	
専門科目	自然と環境	「大歩危小歩危」の地質探訪	石田 啓祐	5月16日・17日	5 / 1 7 ★
基盤科目	一般科目	新・初歩からのパソコン	中山 慎一	5月23日・24日	
導入科目	人間と文化	西洋の音楽史	英 美 生	5月23日・24日	
専門科目	心理と教育	教育政策	櫻井 直輝	5月30日・31日	
専門科目	社会と産業	eビジネスを知る	長沼 次郎	6月13日・14日	
専門科目	心理と教育	BYOD 心理学実験3	川野 卓二	6月20日・21日	
専門科目	人間と文化	土地に刻まれた開発の歴史	平井 松午	6月27日・28日	
専門科目	生活と福祉	歯周病について学ぶ	湯本 浩通	7月 4日・ 5日	
専門科目	生活と福祉	家族看護学	鈴木 智子	7月11日・12日	

★5月17日(日)のみ大歩危周辺(三好市山城町)

2026年度徳島学習センター第1学期ライブWeb授業開設予定科目

* 必ずシラバスで授業内容を確認してから登録してください。

* 辻先生の授業は3・4時限、川口先生の授業は1・2時限です。

シラバスは
WAKABAで
公開中

科目区分	科目名	担当講師	開催日	時 限
専門科目	情報 IoT活用技術入門	辻 明典	5月9日・16日・23日・30日	3・4時限
専門科目	情報 プロのソフトウェア開発工程管理	川口 進	6月6日・13日・20日・27日	1・2時限

授業料のお支払い方法にキャッシュレス決済が導入されました。ご事情によりキャッシュレス決済の利用が難しい場合は、学習センターへご相談ください。※2026年4月から、追加登録のお支払いには場所や方法を問わず、事務手数料200円(1科目につき)が必要となります。

所長・客員教員のご紹介 & ゼミのお知らせ

教 員 名	研 究 分 野	相 談 日 時	ゼミ
橋爪 正樹 徳島学習センター所長 徳島大学名誉教授	電子回路工学	随 時	「新社会におけるエレクトロニクス」 第1金曜日 14:00～15:30 創られようとしているソサイエティ5.0という社会におけるエレクトロニクスについて学びます。（PCを使用します）
奥嶋 政嗣 徳島大学大学院教授	土木計画学 交通工学	第2・3 木 曜 日 10:00～ 12:30	「地方都市の社会基盤デザイン」 第2木曜日 10:30～12:00 社会基盤デザインの考え方とともに、社会基盤整備、リスクマネジメント、まちづくり、モビリティ社会について学び、これからの地方都市における方向性を考えます。
今井 芳枝 徳島大学大学院教授	がん看護学	水 曜 日 12:00～ 15:00	「がん看護学」 第2水曜 13:00～14:30 がんの病態、性質や治療、意思決定などを紹介するとともに、がん看護学について学びます。
佐藤 健二 徳島大学大学院教授	臨床心理学	第1・3 木 曜 日 9:30～ 12:00	「心の健康の回復と増進」 第3木曜日 10:00～11:30 心の健康の回復と増進に関して、社会心理学との接点の領域(不安、抑うつ、ストレス、トラウマなど)について、主に認知行動療法の観点から学びます。
豊田 哲也 徳島大学大学院教授	人文地理学 地域経済学	第2・4 木 曜 日 9:30～ 12:00	「地域課題の分析アプローチ」 第4木曜日 10:00～11:30 地域をめぐるさまざまな問題について、客観的・論理的に考察する方法を学びます。徳島県が持つ魅力や課題についても考えます。
山内 暁彦 徳島大学大学院 准教授	英米文学	水 曜 日 9:30～ 11:30	「古今東西の風刺文学」 第2水曜日 9:45～11:15 古今東西の文学作品における風刺やユーモアについて学びます
川西 智也 鳴門教育大学大学院 准教授	臨床心理学	第2・4 金 曜 日 10:00～ 13:00	「コミュニティのなかでの心理支援」 第4金曜日 10:30～12:00 学校、児童養護施設、高齢者施設、自助グループなど、様々なコミュニティのなかでの心理支援について学びます。

学 習 相 談

・学習上の相談（効果的な学習方法・レポートのまとめ方などについて、所長および客員教員が直接相談に応じます。（30分程度）

・学習相談の日程は教員の都合により変更となる場合があります。相談希望の方は窓口、メール、電話などで事務室までお問い合わせください。

なお、上記の相談可能日時の中で、ゼミ開催時間以外で予約してください。

ゼミ 受 講

受講は無料です。

・事務室受付カウンターにある受講申込用紙にて申し込むか、電話・メールにてお申し込みください。

・急な日程変更や中止になることがありますので、センターHP・センタースケジュールをご確認ください。

事務室だより

証明書の発行について

学生生活の栞【学部】p.101～103【大学院】p.102～104

各種証明書の発行を行っています。

「学生生活の栞」巻末にある様式9、10（大学院は様式8、9）に必要事項を記入の上、学習センター窓口までお申し込みください。発行手数料（1通につき200円）をキャッシュレス決済などのお支払い確認後、発行します。

「諸証明書交付願」はシステムWAKABA>キャンパスライフ>各種届出・申請様式からダウンロードできます。

免許や資格取得に必要な証明書は、発行までに1～2週間を要することがありますので、十分に余裕

を持って請求してください。

■郵送による申請希望の場合は、

①諸証明書交付願

②返信用封筒（長形3号型封筒に宛名明記、110円切手を貼付）

以上2点を同封の上、学習センターまで送付してください。

発行手数料（1通につき200円）のキャッシュレス決済またはメール型決済でのお支払いが確認できましたら証明書を発行し送付いたします。

単位認定試験問題・解答等の公表

学生生活の栞【学部】p.77～【大学院】p.82～

2024年度2学期・2025年度1学期の単位認定試験問題（全科目）と解答（一部）・解答のポイント等は、右記の期限迄システムWAKABA「学内リンク」（トップページ右上）にて掲載するとともに、視聴学習・図書室にて公表（閲覧のみ・撮影可）しています。

◆2024年度第2学期の試験問題・解答等

公表期限：2026年 2月12日（木）まで

◆2025年度第1学期の試験問題・解答等

公表期限：2026年 8月14日（金）まで

学割証（学生旅客運賃割引証）の発行

学生生活の栞、学習センター「利用の手引き」

徳島学習センターで発行できる学割証は、JRの普通乗車券（100km以上）・回数券（200km未満）の学割証です。対象は全科履修生及び修士全科生・博士全科生のみです。授業を受けるために、自宅から学習センターま



たは大学本部に通学する場合などに使用できます。

詳しくは、徳島学習センター発行の「利用の手引き」（p.12）「学生生活の栞」（学部p.128～、大学院p.128～）を参照ください。

システムWAKABAの初期パスワードは必ず変更してください。

システムWAKABAのパスワードは不正利用を防ぐため、必ず初期パスワードを変更してください。初回ログイン時に、必ず初期パスワードの変更を行ってください。初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。

パスワードの変更は、下記 URL から行えます。

<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>

※パスワードを変更してもログインできない場合には、

パスワードを初期化する必要があります。

【システムWAKABAログインに関する問合せ先】

・本部教務課教務係

E-mail: kyoumuka@ouj.ac.jp

・学生サポートセンター TEL:043-276-5111

・徳島学習センター TEL:088-602-0151

「学習センター利用の手引き」・「学生生活の栞」の2026年度からの紙媒体発行終了のお知らせ

2026年度より、「学習センター利用の手引き」・「学生生活の栞」は電子媒体のみの発行となります。つきましては、「学習センター利用の手引き」は当学習センターWebサイトにて、「学生生活の栞」はシステムWAKABAでのご利用をお願いいたします。なお、発行の際には、その旨をキャンパスメールにて案内します。

学習センター内で落とし物・忘れ物について

徳島学習センターの施設内での落とし物、忘れ物につきましては、拾得した日から3ヶ月間は事務室にて保管しております。それを過ぎますと、処分させていただきます。お心

あたりのある場合は、早めに学習セ

ンターまでお問い合わせください。



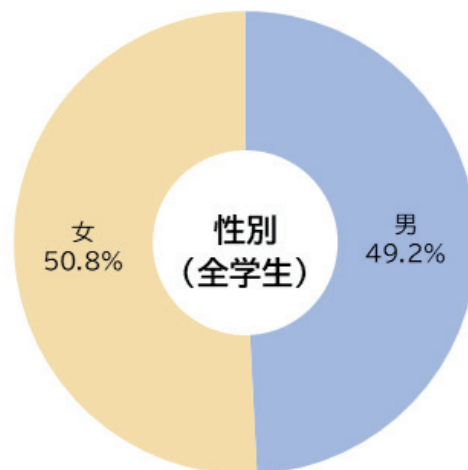
在学生の概要(2025年2学期)

①在 student 数

(人)

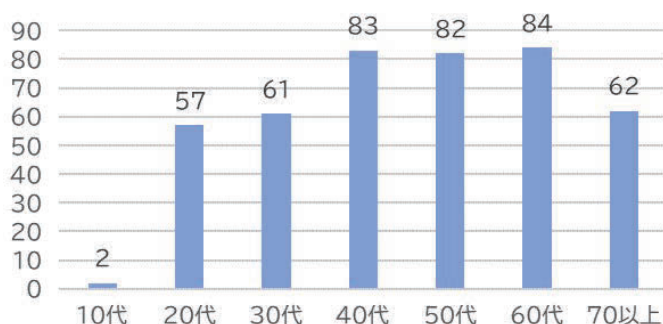
教養学部	全科履修生	330
	選科履修生	59
	科目履修生	34
	特別聴講学生	2
教養学部 集計		425
大学院文化科学研究科(修士課程)	修士全科生	1
	修士選科生	5
大学院文化科学研究科(修士課程) 集計		6
合計		431

②性 別



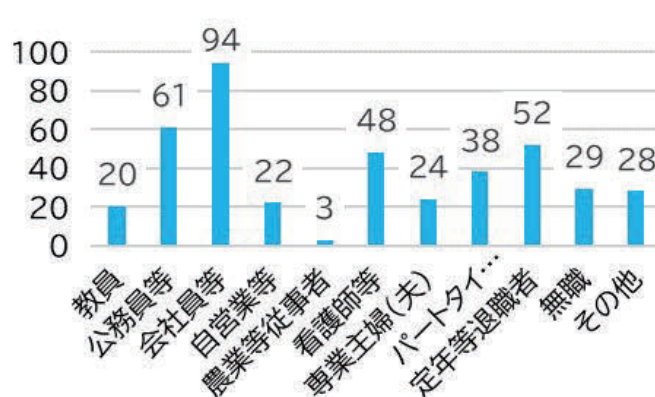
③年代別

(人)



④職業別

(人)



⑤市町村別



⑥都道府県別

(人)

徳島県内	409
兵庫県	17
その他	5
県外 計	22
合計	431

⑦人気科目ランキング

★教養学部★

(人)

順位	授業科目	人数	メディア
1	今日のメンタルヘルス('23)	26	TV
2	人体の構造と機能('22)	24	TV
3	食と健康('24)	23	TV
//	感染症と生体防御('24)	23	R
4	社会福祉-新しい地平を開く('22)	15	TV

★大学院修士★

(人)

順位	授業科目	人数	メディア
1	スポーツ社会学('25)	1	R
//	生活リスク論('25)	1	R
//	グローバル時代の教育文化('25)	1	R
//	現実と向き合う政治理論('22)	1	R
//	臨床心理面接特論Ⅱ('25)	1	R

Wi-Fi(WiFi-houdai)のオンラインでの利用申請について

学習センター内で個人のパソコン・スマートフォン・タブレットのWi-Fi接続ができます。

システムWAKABAよりオンライン申請できます。Wi-Fi houdaiは全国の学習センター及びBYOD方式の面接授業で利用できます。



【申請方法】

WAKABA>各種届出・申請様式>「無線LAN利用申請（オンライン）について」

* ページ内の「参考URL」を開いてオンラインで申請

【手順】

1) 情報セキュリティ研修を受講し、合格する。(所要時間は最低50分)
(システムWAKABA→自己学習サイト→情報セキュリティ研修)

2) 小テスト合格後にオンライン申請

- ・氏名入力
- ・無線LAN利用条件に同意
- ・申請する
- ・即時発行

*なお、認証用IDを失念した方は、申請画面で再度確認できます。

◆センターのWi-Fi接続に係るパスワードは変更できませんのでご注意ください。

◆県外の学習センターでも、同じIDおよびパスワードを使用してインターネット接続が可能です。(一部の学習センターを除く。)

図書室だより

★開所時間のお知らせ★

火曜～日曜 9:30～17:30

※閉室日 月曜・祝日
年末年始(12/28～1/5)
単位認定試験期間(1/18～26)
年度末(3/24～31)

◎入室の際にカウンターへ学生証をお預けください。

◎貴重品以外、学習に必要なない手荷物はコインロッカー(100円・使用後返金)へお預けください。

視聴学習・図書室ご利用の際の注意

学習センター図書室内のDVD・CDは、室内でのみ閲覧・視聴することができます。貸出はできません。学習される際は室内にある専用端末からインターネット配信で視聴してください。放送授業のDVD・CDの貸出は本部で一括して行っております。

2025年1学期より、徳島学習センター図書室にある禁帯出以外の一般図書の出借を再開しております。

*室内では録音・撮影・資料複製は固くお断りいたします。

*携帯電話・スマートフォン・電子辞書などの電子機器は音の出ない設定に切り替えてください。通話はラウンジにてお願いします。

図書資料の複写をご希望の場合は「文献複写申込書」にご記入のうえ、複写したい図書資料とともにカウンターへご提出ください。文献複写料は窓口にてキャッシュレス決済でお支払いください。(複写にあたっては一部制限があります。)

◆資料整理や機材の調整などで臨時閉室することもあります。その際は学習センターHPにてお知らせいたします。

◆毎月20日前後に、翌月の「図書室だより」を発行しております。ご利用ください。

尚、2025年度より、図書室からのお知らせは徳島学習センターのHPよりご確認ください。

●2025年10月1日からのキャッシュレス決済導入に伴い、文献複写料金(他大学からの文献取寄せにかかる料金及び、職員による文献複写にかかる料金)のお支払い時にキャッシュレス決済にてお支払いいただいております。キャッシュレスの手段のない方は、窓口にお申し出ください。

なお、本部附属図書を学習センターを通して貸出する際には送料は不要です。



「まなびの森」講演会について

徳島学習センターは、徳島県立図書館との共催で、毎月1回土曜に「まなびの森」講演会を開催しています。

□ 10月から12月の開催状況

- 開催日:10月18日(土)
- 演 台:“在台二世”文学者新垣宏一の紹介
- 講 師:徳島大学総合科学部 教授 荒武 達朗
- 参加者:14名



- 開催日:11月15日(土)
- 演 台:豊臣秀吉の天下取りを支えたふたり
—実弟大納言秀長と「天下一茶の湯名人」千利休—
- 講 師:四国大学文学部日本学科 教授 須藤 茂樹
- 参加者:35名



- 開催日:12月20日(土)
- 演 台:1970年頃からの気候変動について
- 講 師:徳島県立総合大学校 とくしま学博士 森本 春男
- 参加者:24名



□ 1月から3月までの予定

参加には、電話での事前予約 (☎088-602-0151)が必要です。

○ 定員:各回40名 ○ 参加料:無料 ○ お申込:各回とも開催日の1か月前から受付しています。

開催日時	内容	講師
1月17日(土) 13:00~15:00	徳島ヒストリー —城下町で暮らした人びと—	徳島市立徳島城博物館 主任指導員 根津 寿夫
2月28日(土) 13:00~15:00	徳島県の恐竜時代の地層と化石 —勝浦町での恐竜化石発掘調査を中心に—	徳島県立博物館 上席学芸員 辻野 泰之
3月21日(土) 13:00~15:00	コンピュータによる文字認識の過去・現在・未来	崇城大学(旧熊本工業大学) 元教授 木村 義政



放送大学 2026年4月入学生募集!



放送大学では、2026年4月入学生を募集しています。在学中の学生の皆様の継続入学、以前に在学していた方の再入学もお持ちしています。また、在学生の皆様からのお声がけは、新たに学んでみたいと思っている方の入学のきっかけになります。職場やご近所の方などお知り合いの方にもお勧めください。

□ 出願期間

第1回:2025年11月26日(水)~2026年 2月27日(金)

第2回:2026年 2月28日(土)~2025年 3月16日(月)

無料の
資料請求は >>>
こちらから



学生研修旅行に行ってきました。

10/5

金刀比羅・
四国水族館

感想 メッセージ

皆さんとの楽しい1日ありがとうございました。来年の研修旅行でお会いしましょう。



継続して実施してほしい
参加料金は少し上がっても、
以前のように年一回程度実施
希望します

バス車内での自己紹介ス
ピーチ行きの移動時間で行う
と、親交が深まります



参加させていただいて大変楽しく有意義で
した。放送大学生の多様さを感じました。例外とし
て私も含めて高齢者がおおいことですね。
目的地も歴史的に価値のある歌舞伎小屋と水族館
で良かったです。

できれば、全員が何か発言する機会のような場の
設定があると、その
後に声をかけやす
かったかな、と思い
ました。
来年も参加したいで
す。



パソコン講習会について

第2回・第3回のパソコン講習会「Web通信指導・Web単位認定試験を体験してみよう！」
は、徳島同窓会との共催により阿南市と美馬市に出向いて開催しました。

□ 第2回講習会

- ・開催日時:10月18日(土)13:30~16:00
- ・会 場:阿南市情報文化センターコスモホール 研修室
- ・参 加 者:1名
- ・講 師:徳島SC:元山 茂樹、徳島同窓会:柳本 聖・小坂 恵美



□ 第3回講習会

- ・開催日時:10月25日(土)13:30~16:00
- ・会 場:美馬市交流センターミライズ 会議のハコ
- ・参 加 者:2名
- ・講 師:徳島SC:元山 茂樹、徳島同窓会:柳本 聖・岡本 充栄



【お知らせ】

第4回パソコン講習会「オンライン
授業とライブWeb授業の受け方」

- 日時・会場
 - ・2/7(土)13:30~16:00
 - ・徳島学習センター講義室
- 申込方法・受付期間
 - ・電話または受付フォーム
 - ・1/7(水)~1/31(土)
- 定員
 - ・15名(先着順)



受付フォーム

同窓会 だより

徳島同窓会公開講演会を 開催しました。

11月15日土曜日、徳島大学日亜会館2階講義室において
放送大学徳島同窓会主催公開講演会を開催しました。元
放送大学徳島学習センター所長、徳島大学名誉教授の中
條信義先生による「科学の目的、科学者の使命とは」と
題し、副題「たった1行の数式 ($E=mc^2$) が世界を変え
た一理論と原爆製造に関わった科学者アインシュタイン
とオッペンハイマー、湯川秀樹と仁科芳雄の苦悩」と
いうご講演でした。

優秀な科学者が戦争に直面したとき、それぞれがどの
ような選択をしたのか。毒ガス
兵器の開発に携わったハー
バー、特殊相対性理論を導いた
アインシュタイン、マンハッ
タン計画(原子爆弾の開発、製
造)に関わったオッペンハイ
マー、中間子理論を発表した湯
川秀樹、原子爆弾開発に援助を



受けた仁科芳雄についてご講義頂きました。科学者だ
け、技術者だけでは原子爆弾は出来ないがそこに政府
(資金)が加わり三者がそろったときに恐怖の兵器が
出来上がった事についても触られました。また、日本に
原子爆弾が落とされた事実を振り返り、国際法違反とし
て取り上げた三淵嘉子や日本学術会議問題にも踏み込
まれました。三淵嘉子はドラマ「虎に翼」のモデルとな
った人物です。

中條先生は200枚を上回るスライドを準備され、根拠と
なる成書や文献集も持ち込まれ、先生の戦争に強く抗議
するというご姿勢を感じることが出来ました。戦後80
年の今年、有意義な講演会となりました。このご講演は
来年2月8日には同窓会連合会「かたりば広場」でZoom配
信しますので、もう一度お聞きい
ただけます。

最後になりましたが、後援とい
うかたちで会場の手配や準備、垂
れ幕や資料の印刷にご尽力頂き
ました学習センターの職員の方々
にお礼申し上げます。

同好会 だより

英語翻訳同好会

活動日 毎月第2水曜日

*日程の変更もありますので、参加希望の方は
徳島学習センターにお問い合わせください。

スマートライフ実践同好会

1月~3月の活動は未定です。

*参加にご興味ある方は徳島学習センターまでお
問い合わせください。

スケジュール [2026年1月～3月]



は 閉所日
 は 単位認定試験期間
 は 図書室閉室期間
 は 面接授業

2026年 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月



1 5	木 月	年始閉所	18 22	日 木	2学期単位認定試験* (記述式・併用式) 郵送受験期間
12	月 ・ 祝	成人の日(閉所日)	18 26	日 月	2学期単位認定試験期間 択一式、Web提出期間 (図書室閉室)
17	土	まなびの森講演会			

★センター開講授業

10・11 土・日 「第九」の世界初演と日本初演 (石川榮作 先生)

2026年 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2月



7	土	第4回パソコン講習会	27	金	2026年1学期 第1回出願締切
11	水	閉所日(建国記念の日)	27	金	2026年1学期科目登録
13	金	2026年1学期科目登録受付開始【郵送・Web】	28	土	2026年1学期科目登録受付締切【Web】
13	金	2学期単位認定試験成績発表	28	土	2026年第1学期 第2回出願開始
			28	土	「まなびの森」講演会

2026年 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月



16	月	2026年1学期 第2回出願締切	24	火	図書室閉室(~31日)
20	金	閉所日(春分の日)	29	日	2025年度第2学期卒業証書・学位記授与式(センター主催)
20	金	2025年度卒業証書・学位記授与式(本部主催)	29	日	2026年度1学期 入学者の集い
21	土	まなびの森講演会			

★センターの臨時閉所、センターの行事の急なお知らせは「よしの川」表紙の右上に掲載している二次元コードから学習センターHPにアクセスしてください。

★ゼミの開講についてはセンタースケジュールを確認してください。

センタースケジュール



システムWAKABA



2025年度第2学期学位記授与式の

日時変更のお知らせ

2025年度第2学期学位記授与式の日時を下記に変更いたします。

3月29日(日)午前10:30分開催